

SBS2003で

情報を「使える」会社になる!

# 情報が集まる仕組みをつくらう!

情報を効率良く有効に活用するために、具体的な仕組みづくりに取り組もう。その第一歩は、サーバーを設置して情報の流れをスムーズにすることだ。



顧客から聞いた業界情報、ライバルの動向、さらに受発注に伴う各種資料や文書…。会社の中は情報という宝が溢れている。これを上手に使うが見逃すかによって、経営に大きな差が出るのはこれまで見てきた通りである。

「電話や手書きのメモによる連絡で、行き違いや伝達不備が増えている」「営業担当者が仕入れた重要な情報が他の社員に伝わらない」「受注管理で大量の書類を作成しているが社内には散在。次の取引の参考にするように思っても、探し出すのが大変」こんな症状は出ていないだろうか?

こうした問題の解決に役立つのが「サーバー」である。

## 情報活用はサーバー導入から始まる

サーバーは社内のパソコンをつないで情報を保存したり、各パソコン

有キャビネットのような感覚で文書を保管・利用できる。こうして、ムダな作業がなくなり、情報の流れがスムーズになる。過去の経験や知恵が蓄積されていけば、商品力や販売力もアップするはず。こうした情報共有の仕組みを簡単に作れるところがWindows SBS 2003の強みでもある。

もちろんサーバー導入のメリットは情報共有に限定されるものではない。Windows SBS 2003の活用は他にも①情報を一元管理することによるセキュリティの向上、②現場の状況を正しくつかみ高度なコラボレーションを実現、③蓄積されたデータを活用し、戦略的売上拡大を推進するなど、ビジネスのあらゆる場面で威力を発揮する(上図参照)。使いこなすほどに効果も高まるに違いない。

マイクロソフトでは、「スマート・ビジネス」をテーマに2004年11月から、Webサイトで上記の4つのシナリオをわかりやすく解説したソリューションサイトをオープンする。そのサイトでは、Windows SBS 2003や、グループウェア

**Windows SBS 2003とは?**  
(Windows Small Business Server 2003)

社内の情報を一元管理し、メールやスケジュール、顧客情報などを有効に、安全に活用するためのサーバーソフト

サーバーを活用するためのソフトだよ

専門のスキルがなくても、非常にわかりやすいガイダンスで設定できるので、1台目のサーバーソフトとして最適

の動きを管理する、業務の中心となるコンピュータ。サーバーの活用で、社内には散らばる情報を共有財産にすることができるようだ。

難しいイメージのあった設定や運用も、マイクロソフトの「Windows Small Business Server 2003(以下、Windows SBS 2003)」の登場で解消され、身近なものになった。Windows SBS 2003



ソフト「Group Board ワークスペース」の利用方法をシナリオごとにわかりやすく解説した活用ガイドを提供する予定である。

サーバーという道具を上手に活用して社員と会社の力を伸ばすこと—それが「スマート・ビジネス」の目指す世界だ。2004年春の発売以来、すでに多くの企業がSBS 2003を導入し、業務改革を進めている。その価値を実感するには絶好の機会と言えそうだ。

**Windows Small Business Server 2003**

サーバー用OSや各種ソフトをパッケージ化  
参考価格11万9800円(税別)  
実際の販売価格は販売店、店頭にてお確かめください。

**お問い合わせ先**  
マイクロソフト株式会社  
電話:東京(03)5454-2300 大阪(06)6347-9300  
(弊社指定休業日、年末年始、土・日・祝日を除く)  
URL: <http://www.microsoft.com/japan/sbs>

## 特集 会社を伸ばす「現場の情報」

**情報へのセキュリティが向上**

情報を安全に管理

情報を  
・もらさない  
・なくさない  
・壊さない

**経営の効率をぐんとUP!**

仕事情報の共有、メール等により、業務効率向上

**売上拡大へ!**

顧客データを分析・活用して新たな戦略立案 → 売上拡大へ

**現場のことが見える経営に!**

ビジネスの現状を迅速に、正しく把握。取引先とのコラボレーションも

## Windows SBS 2003でスマート・ビジネスを!

03は専門のスキルがなくても、非常にわかりやすいガイダンスで設定できるので、自社でサーバーの設定・運用を行うことが可能なサーバーソフト。初めてのサーバー導入、部門単位でのサーバー活用に最適だ。

## 目指すはスマート・ビジネス

(1) 連絡や確認 課題にも解決策が見えてくる。

サーバーを導入しメールサーバーの設定を行うと、Eメールが利用できるようになる。メールは、同じ時間に相手が存在でも連絡を出せるほか、文字として情報が残るので、正確な情報伝達が行える。

(2) 社員のスケジュールや日報は、グループウェアソフト「Group Board ワークスペース」が簡単な設定で利用できる。スケジュールや会議室予約、日報などの情報を各パソコンからいつでも共有できるようになる。

(3) ビジネス文書の管理 サーバー活用の第一歩はファイルサーバーとしての利用が最も多い。ファイ

ルサーバーとは、社内ですぐに使う文書や見積書、企画書などを1カ所に整理し、共有するものだ。共